

# 講演会の様子と生徒の感想



講演会の様子



成蹊大学 法学部 教授 野口雅弘先生



図を交えて分かりやすく解説いただきました



真剣に講演を聞く生徒達

## ○ 講演会を聞いた生徒の感想

- 民主主義とは何かと聞かれたら自分は、みんなの意見を取り入れた政治をすることだと考えました。けれど、人によって民主主義の考え方に違いがあるということが印象に残りました。また、自分は民主主義が良いと考えるのですが、年々民主主義を否定的に考える人や民主主義を悪いと評価する人が増えているということに驚きました。さらに、「愚か者の支配」の話題でイギリスのEU脱退前にあった嘘の説明に人々の判断が左右されたことの話が出てきた際に、政治に関わる上で知識を持って関わることは大切だと思いました。自分はあまり政治に関心がなく10月に行われた選挙も投票の前日に候補者の情報や公約を見た程度でしっかりと知識を付けずに行ってしまったのでこれから先は自分で調べて情報を得てから行こうと思います。

- 今まで民主主義という言葉は教科書に書いてある通りだと思っていましたが、考え方によって意味が変わるのだと聞き驚きました。また、今回の講演を聞くまで民主主義は民衆が中心になって政治を変えていくというスタンダードな意味でしか考えたことがなかったため、民主主義の課題に触れることがありませんでした。この講演で、民主主義は全部が全部良いことだけではなく、否定される部分もあるのだと気づき、民主主義についての考え方が変わりました。講演中に述べられていたように民主主義は愚者の支配と指摘する人もいると聞き、少し納得する部分もありました。嘘や事実ではないことを信じて投票する人が多く、失敗しているケースもあり、知ることの大切さを身に染みて感じました。
- 私は民主主義について、学校の授業で触れる以外に自分から詳しく学ぶことがなかったので、全面的に良いシステムなんだとぼんやり考えていました。だから、アメリカなどでは民主主義が必要ではない・良くないと考える人が多く、年々増加している理由が分かりませんでした。しかし、民主主義は愚か者の支配だという主張を聞いて腑に落ちました。最近は SNS でよく AI が生成した画像が流れてきます。それを使って嘘やデマを流すことは簡単ですし、本物と見分けがつかない人は騙されてしまうと思います。実際、少し前の選挙では AI 生成画像で演説の反響をアピールする人がいた記憶があります。日本では民主主義に則っているからこそ、自分も有権者の一人として情報の真偽を確かめ、他人の意見を鵜呑みにしないことが大切だと思いました。
- 私が一番印象に残っているのは、若い人たちは民主主義を否定する人が増えてきているが、戦争を経験している人の多くは民主主義が必要だという人が多いということです。民主主義は相談や議論をするため、時間はかかり、大変だと思うことが多いと思います。しかし戦争を体験した人たちにとっては、なかなか自分たちの意見も聞いてもらえず、国に言われるまま生活し、結果多くの人が命を落としたということがあったのかなと思いました。なので、民主主義に問題がないわけではないし、他にもいい考え方はあるかもしれません。けれど、独裁社会のようなものではなく、国民の意見もしっかりと聞き、それを反映させていくという政治のあり方であってほしいなと感じました。
- 「民主主義」という一つのテーマでも人によって解釈が違うことが面白かった。改めて考えると民主主義を説明出来るほど知識がなく、実際、人それぞれの定義があるため自分なりの考えを生み出して人に説明する必要があることが分かった。
- 若い人を中心に民主主義の信頼が下がっていることが最も印象に残る。去年行われた衆議院総選挙で投票率が 53%程度である理由の一つに民主主義への信頼が大きく関係しているのではないかと思った。

- 今まで民主主義に疑問を持たなかった私にとってはアメリカとヨーロッパで民主的である必要がないという人が増えているグラフを見て驚きました。国によって国民の考え方が異なってくるということを改めて認識しました。